

豊川市文化財保存活用地域計画の進捗状況について

1 計画の目的

地域の文化財の価値や大切さを知ることで市民一人ひとりが豊川市に誇りや愛着を感じ、様々な取組主体が手を取り合い、文化財を次世代へ継承していくことを目指しています。

【将来像】歴史文化資源をみんなでつなぐ 輝くとよかわ

【方向性】1 みんなで調べる—調査・研究・連携— 2 みんなで守る—保存・修理・防災対策—
3 みんなで伝える—継承・情報発信— 4 みんなで活かす—整備・公開・活用—

2 計画の周知

令和6年12月～7年2月に地域生涯学習講座を10中学校区9か所で開催しました。

受講者：358人

3 令和6年度の進捗状況

第7～10章に記載する104件の措置の進捗状況は以下のとおりです。

【実施状況＜全体＞】

	措置数	実施中	検討中	未実施／措置No.
みんなで調べる	13	10 (76.9%)	2 (15.4%)	1 (7.7%) 5
みんなで守る	19	14 (73.7%)	3 (15.8%)	2 (10.5%) 62・63
みんなで伝える	21	20 (95.2%)	0	1 (4.8%) 39
みんなで活かす	11	10 (90.9%)	0	1 (9.1%) 53
計	64	54 (84.4%)	5 (7.8%)	5 (7.8%)

みんなで調べる

- ・No.4 無形の民俗文化財調査を7月から実施し、対象44ヶ所のうち18ヶ所の調査を終えた（生）
- ・No.8 専門職員の確保として、学芸員の新規採用職員の募集を行った（人）
- ・No.10 豊川海軍工廠平和交流館の活動に、愛産大三河高校放送部や豊川高校・桜丘高校の生徒が参加した（生・高）
- ・No.13 豊川海軍工廠語り継ぎボランティアと御津地区の戦争に関する調査を実施し、平和交流館にて7/20～9/29に展示を行った（生）

みんなで守る

- ・No.15 三河国府跡の土地公有地化を進めた（生）
- ・No.16 御油のマツ並木、三河国分寺跡、伊奈城趾・花ヶ池公園、船山古墳、岩略寺城跡の維持管理を町内会や管理団体に委託した。長沢小学校・萩小学校の児童が整備作業に参加した（生・小）
- ・No.20 発掘調査報告書「船山第一号墳・小金古墳」を刊行した（生）
- ・No.54 菅足神社を会場として、文化財消防訓練を実施した（消）

みんなで伝える

- ・No.22 市内の小学校6年生を対象とした三河国分尼寺跡史跡公園・豊川海軍工廠平和公園の見学事業を実施した（生）
- ・No.23 小学校3校、高校2校へ出前講座を実施した（生・学・高）
- ・No.25 三河国分尼寺跡史跡公園の「天平ロマンの夕べ」に若者ボランティアが参加した（協）
- ・No.26 新規採用職員に市の歴史や文化財を学ぶ研修を実施した（人）

みんなで活かす

- ・No.43 選挙の投票済み証として各地区の歴史文化資源のステッカーを配布した（行）
- ・No.44 豊川稻荷門前通りをテレビや映画のロケ地として誘致した（元）
- ・No.45 文化財を活用して健康増進目的のウォーキングイベントを実施した（保）
- ・No.51 豊川稻荷の表参道を中心とした豊川駅周辺のまちづくりを考えるワークショップを開催した（都）

【実施状況<関連文化財群・文化財保存活用区域>】

	措置数	実施中	検討中	未着手／措置No.	
①本宮山や豊川を始めとした自然環境と風土	6	5 (83.3%)	0	1 (16.6%)	1
②数多く築造された多彩な古墳	5	2 (40.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2・3
③市域で形成された大江定基伝承	4	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	2・3
④近世東海道を中心とした街道交通	5	3 (60.0%)	0	2 (40.0%)	1・4
⑤戦国時代から江戸時代までの支配の変遷を物語る文化財	5	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0	
⑥豊川海軍工廠と豊川市	7	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0	
文化財保存活用区域 古代三河の首府	8	1 (12.5%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	5・6・7・8
計	40	21 (52.5%)	8 (20.0%)	11 (27.5%)	

関連文化財群

- ・①-3・5 豊川沿いも含めた神社仏閣を活用したとよかわ御朱印巡りや鉄道会社による一宮地区のウォーキングイベントを実施した（観・民・商）
- ・②-1 船山古墳を公園として整備し、説明板を設置した（生）。
- ・③-4 菅足神社の風祭りも含めた市内の祭礼に合わせた御祭印のイベントを開催した。
- ・④-3・5 御油のマツ並木の維持管理、街道沿いの祭礼で使われる山車の修繕に対する補助を行った。
- ・⑤-2 岩略寺城跡の環境整備を町内会と児童が行い見学者への便宜を図った（生・地・学）
- ・⑥-1・3・4・5 豊川海軍工廠語り継ぎボランティアとの共同調査やあいち県民の日・あいちウィーク・ラーニングの日に伴う事業、穂ノ原工業団地内の企業の新人研修を実施した。戦後80年の節目の事業について他課との連携した取組みを検討した（生・ボ・企・行・秘・桜・図）

文化財保存活用区域

- ・活-2 三河国府跡の土地買上げを行い、公有地化を進めた（生）

※ (生) 生涯学習課、(人) 人事課、(高) 高校、(小) 小学校、(消) 消防署、(学) 学校教育課、
 (協) 市民協働推進課、(行) 行政課、(元) 元気なとよかわ発信課、(保) 保健センター、
 (都) 都市計画課、(観) 商工観光課、(民) 民間企業、(商) 商工会議所、(地) 地域、(ボ) ボランティア
 (企) 企画政策課、(行) 行政課、(秘) 秘書課、(桜) 桜ヶ丘ミュージアム、(図) 中央図書館

4 文化財保護審議会での評価

- ・文化財の保存活用は数年で終わるものではないため、少しでも良くなるよう、皆が意識して計画的に取り組めるようになるとよい。7月の認定で当該年度中に事業に着手できなかったと思われるが、「未実施」としたものは、少なくとも7年度からは着手できるとよい。
- ・全国的に多くの自治体で文化財の保存活用が進んでいるが、文化財保護部局だけでなく、他部署の理解を得るなど、ヨコの繋がりが必要だと思う。
- ・季節のイベントに合わせた関連文化財群の活用などは市全体で検討してほしい。
- ・学校教育とも連携した取り組みについては意識的にしっかり取り組んでもらいたい。

○ 概ね計画どおり進んでいる



No.13 御津地区の戦争に関する展示



No.16 富士神社のコバノミツバツツジ環境整備作業



No.22 小学校6年生の見学事業



No.25 若者ボランティアによる作業



No.51 まちづくりを考えるワークショップ



No.54 文化財消防訓練